

新製品発表

**新型単結晶セルの採用で発電効率を更に向上させた
屋根建材型太陽光発電モジュール「Just Roof™」新製品3モデルを発売
「MSZ-090ST+」「MSZ-090SS+」「MSZ-090SS-S1+」
2010年秋発売予定**

サンテックパワージャパン株式会社（本社 東京都新宿区 社長 山本豊）は、面積を拡大し電極の接続方法を見直すことで発電効率を更に向上させた単結晶セル「Jumbo Cell(ジャンボセル)」を採用した屋根建材型太陽光発電モジュール「Just Roof™(ジャスト・ルーフ)」の新製品3モデルを発売いたします。

「Just Roof™(ジャスト・ルーフ)」は建材一体型太陽光発電モジュール(BIPV)の先駆けとして1994年にサンテックパワージャパン株式会社の前身である株式会社MSKより発売されて以来16年の実績があり、建材の標準サイズで屋根材としての高い防水性能と発電機能を兼ね備えた製品として高い評価を得ています。新シリーズで採用した単結晶セル「Jumbo Cell(ジャンボセル)」は、対角を従来の150mmから165mmに伸ばし1枚あたりの面積を約4%拡大しました。更に、各電極を細くしインターコネクターの両端も細くすることで集光面積を更に向上させ、すべての電極をセルの周囲で連結させることで発電した電力を効率よく集められるようにしました。この新型セルを採用することで、従来と同サイズの「Just Roof™(ジャスト・ルーフ)」モジュールの出力を約5.9%向上させています。新築や改築時に最適な屋根建材型太陽光発電モジュールで、日本市場での2010年の更なる販売拡大を目指します。

「Just Roof™(ジャスト・ルーフ)」はフレームと取付けレールの両方に排水構造を設けることで防水性能を高めています。一般地域向けモデル「MSZ-090ST+」と、滑雪性能を考慮してデザインされた積雪地域向けの「MSZ-090SS+」「MSZ-090SS-S1+」をご用意しています。レールを利用した効率の高い施工方法で、日本各地の環境に合わせた設置が可能です。

6月30日(水)から7月2日(金)までパシフィコ横浜で開催されるPV Japan 2010のサンテックパワージャパンブースにて、本新製品のほか各種製品を展示し皆様のご来場をお待ちしています。

< 本件のお問合せ先 >

サンテックパワージャパン株式会社

マーケティング本部 広報担当 三澤・北原 03-3342-3838

サンテックパワージャパン ホームページ：<http://www.suntech-power.co.jp>

< 「Just Roof™(ジヤスト・ルーフ)」 各新製品の主な特長と仕様 >

製品名	MSZ-090ST+ 2010年秋発売予定	MSZ-090SS+ 2010年秋発売予定	MSZ-090SS-S1+ 2010年秋発売予定
構造	一般地域仕様	積雪地域仕様 特殊フレーム・エンボス加工ガラス	積雪地域仕様 特殊フレーム・エンボス加工ガラス 裏面補強バー
公称最大出力	90Wp		
モジュール変換効率	10.7%		
使用セル枚数	36枚(6×6)		
サイズ	930×903×33mm		
重量	10.0kg		11.0kg
出力許容誤差	±5%		

< サンテックパワー・ホールディングス、及びサンテックパワージャパン株式会社について >

サンテックパワー社は2001年に中国無錫で設立され、2005年にニューヨーク証券取引所に株式を公開しました。2006年に日本市場の開拓とBIPV(建材一体型太陽電池)のノウハウを共有するために、太陽電池製造販売で長年の実績を持つ株式会社MSKを傘下に収め、2009年6月にサンテックパワージャパン株式会社を発足させました。2008年末には太陽電池セルとモジュールを合わせ1GWの生産能力を世界で初めて達成し、2010年3月に1000万枚目のモジュールを出荷したことで創業以来の累計出荷量は2.2GWになりました。シリコン系太陽電池モジュールの生産量世界第1位¹であるとともに、ヨーロッパ国別導入占有率でドイツでは2位、スペインでは1位²を獲得しており、各国で高い評価を得ております。

1 PHOTON International 2010年3月号による

2 サンテックパワー社調べによる

【製品写真】

MSZ-090SS+



【新型単結晶セル】(当社比)

旧型単結晶セル

新型単結晶セル



製品改良のため、仕様の一部や外観デザインを変更することがあります。